

三陽機器発売

人気の新型ツインモーター 作業効率がアップ

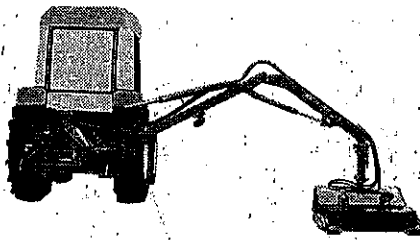


寺前社長

三陽機器(株)(寺前公平社長・岡山県浅口市里庄町新庄3858)が昨年新発売した新型トラクタ用アーム式草刈機「ツインモーターZMシリーズ」が好評だ。

これまでのツインモーターでは車幅内には格納できず、道路の障害物や対向車があれば、すれ違いに時間を要した。同機であれば、「乗車したままレバー操作だけでツイン

モーターをトラクタの車幅内にほぼ格納できる」「草刈り作業時に電柱などの障害物を乗ったまま回避できる」「道路走行時に車幅内に格納した



新発売のツインモーターZMシリーズ

たままスピーディーに移動できる」など、作業効率が格段にアップするとともに、より安全なトラクタ走行が行える。この新型ツインモーターは、アーム先端にモーター

を装着しており、農道からガードレール越しに法面の草刈りが行える。作業リーチはZM-3708(適用トラクタ28〜50馬力)が3・6m、ZM-3709(35〜50馬力)が3・7m、ZM45(50〜90馬力)が4・5mと長く、幅の広い法面や水路越しの草刈り作業が楽に、しかも効率良くできるようになったとい

作業ポジションはトラクタの運転席の「右サイド」「右後方」「後方」「左後方」の4ポジションあり、「左後方」ポジションでは道路の左側走行をしながら草刈り作業ができるので、対向車のすれ違いが安全快適に行える。

モーター部は、作業幅800mmのZM-3708用と作業幅900mmのZM-3709、同45用の2型式。ZM-3708用はセットポンを解除することで、モーター部が折りたためた2面刈り作業が可能になる。ZM-3709、同45用は平面刈り専用モーターで、高トルクのツイン油圧モーターを採用、高能率の草刈り作業を実現している。小売価格は税込みでZM-3708、同3709が1116万3400円、同45が122万100円。